

5 地域高齢者支援事業

所管部課	いきいき生活部高齢者福祉課		評価結果	要改善
評価の総括	<p>改善の主な観点として、第一点目は、市民の方にまず知っていただくことが必要なので、周知方法を工夫していただきたい。市民の方に課題等を認識していただき、本事業を理解していただく必要がある。</p> <p>第二点目、見守り支援ネットワークについては民間のネットワークの状況と、コミュニティの特性を踏まえ施策を展開いただきたい。また、事業の枠組みについて、それぞれの取組についてつながりは直接ないのご説明いただいたが相乗効果を発揮できるよう検討願いたい。</p> <p>最後に、検討は難しいと思うが、アウトカムの指標、並びに適切な目標を再検討願いたい。</p>			
改善に向けた主な取組	<p>(1) 市民全体に対する周知活動の実施 地域高齢者支援事業の対象となる高齢者だけでなく、小中学校等で認知症サポーター養成講座等を開催するなど、若い世代を含め市民全体に対し、高齢者見守り支援ネットワーク事業や、あんしんキーホルダー事業等を周知します。</p> <p>(2) 高齢者見守り支援ネットワークの空白地域の解消 市内全域で高齢者の見守りが行われるよう、高齢者の見守りが行われていない空白の地域へ、高齢者見守り支援ネットワーク形成の支援を行います。</p>			
指標	現状値	目標値	実績値	改善状況
		最終年度 (達成年月)	2020年3月末時点	
(1) 効果的な周知方法の検討、周知活動の実施	ホームページ等による周知	より幅広い世代への周知の実施 (2020年3月)	より幅広い世代への周知の実施 (2019年3月) ・校長会における認知症サポーター養成講座の周知 ・小中学校における認知症サポーター養成講座の実施 ・地域で開催するお祭りやイベントでの周知活動	改善済み
(2) 高齢者支援センター毎の担当地域の高齢者の見守り状況の実態調査、データベース等の整理、及び高齢者見守り支援ネットワーク形成の支援の実施	—	空白地域への高齢者見守り支援ネットワーク形成の支援の実施 (2019年3月)	・既存の見守り支援ネットワークの実態調査と町内会・自治会以外の地域団体による見守り活動状況の実態調査の実施 ・データベース等への集約・整理 ・見守り支援ネットワーク構築に向けた支援の方法についてマニュアルを作成	改善済み

備考

※現状値は、2017年11月1日現在のもの